

コナダニ

特徴と生態

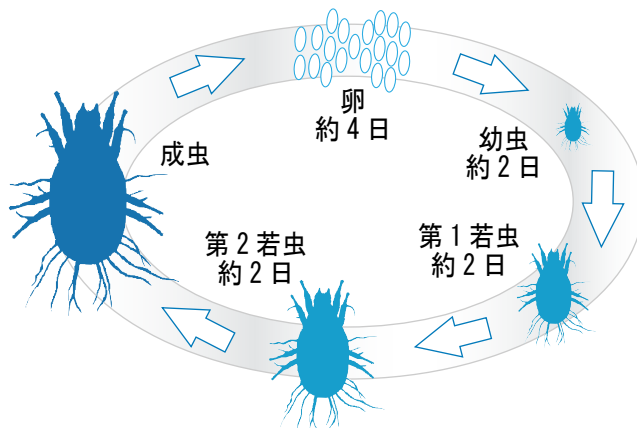


- 体長…成虫：0.3～0.5 mm
- 体色…成虫：体は乳白色で、口器と脚は乳白色、黄土色、薄赤茶色。（種類により異なる）
- ハサミ型の口器を持つ微小なダニ。
メスは1日に約13個、生涯で約150個の卵を産卵します。
繁殖力が極めて高く、環境条件が至適な場合には被害が広がり、大きな経済的損失となります。至適環境は温度25～30℃、湿度75～85%とされています。

分布と発生場所

- 種類により食性が異なりますが、主にカビが生えている場所や食品管理の悪い場所で発生し、カビや食品類を餌として繁殖します。貯蔵食品のほか、医薬品、畳のワラ、室内塵からも発生します。

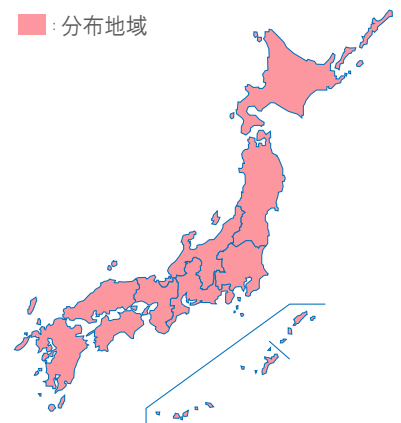
● サイクル図



● 発生時期



● 分布図



被害

- 様々な食品を加害するほか、農作物の被害も出ています。また、多数発生するため、ダニが動いているのが肉眼でわかり、不快感を与えます。
発生時期と被害のピークは6～8月上旬と秋～冬にかけて多くなります。

駆除

- 事前に発生を抑えるには、食品の保管容器は隙間のないよう注意すること、食品を置く床は常時清掃しておくことなどが重要です。
発生してしまった場合、コナダニは高温に比較的弱いので、煮沸、乾熱、天日乾燥などによって死滅させることができます。そして、食品をできるだけ10℃以下に保存することで、増殖を抑えることができます。ただし、低温によって死滅させることは難しいとされています。
また、畳などで被害が酷い場合は、加熱乾燥が必要となりますので、専門業者に相談することをお勧め致します。